

令和7年度 第1回伊予市地域公共交通活性化協議会（伊予市地域公共交通会議）

■日 時：2025（令和7）年7月29日（火）14:00～14:35

■場 所：伊予市役所3階 庁議室

■出席者：全委員21名中16名出席

■開会

事務局より開会が宣言され、配付資料の確認が行われました。

■会長選任・会長挨拶

委員の改選に伴う会長選任が行われ、事務局より伊予市副市長の青野昌司委員を会長とすることが提案され、満場一致で承認されました。

青野会長より、就任の挨拶として以下の挨拶がありました。

「一昨年度より委員の皆様と共に策定した『伊予市地域公共交通計画』は、今後の伊予市の公共交通の指針となる。今年度は計画の実施2年目として、運行内容を見直したコミュニティバスやデマンドタクシーの状況を慎重に見極め、事業を着実に推進していくことが重要。皆様からの忌憚のないご意見をいただきながら、円滑な議事進行に努めたい。」

■議事

（1）令和6年度事業決算・令和7年度事業予算（案）及び規約の一部変更について

事務局

--- 資料1：令和6年度事業決算・令和7年度事業予算（案）及び規約の一部変更についての説明 ---

令和6年度事業決算

令和5年度に地域公共交通計画策定業務に伴う入出金が発生して以降、特段の動きはなく、歳入・歳出ともに雑入として利息13円が計上されているのみでした。このため、監査報告は省略されました。

令和7年度事業予算（案）

地域公共交通計画の策定に伴い、国からの「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」6,515,960円を歳入として計上します。

（算定根拠：対象人口 35,133人 × 120円 + 定額 230万円）

伊予市地域公共交通活性化協議会規約の一部変更

委員の任期の統一：上位規定である「伊予市地域公共交通会議設置要綱」と合わせるため、委員の任期を「任命又は委嘱の日からその日の属する年度の翌年度の末日まで」に統一します。

構成員の名称変更：組織名の変更に伴い、以下の通り名称を実態に合わせて変更します。

（現行）伊予市本庁地区ハイヤータクシー協会 → （変更後）中予タクシー協会

（現行）伊予市女性リーダー育成委員会 → （変更後）男女共同参画基本計画策定審議会

質疑応答の後、原案のとおり承認されました。(意見・質問なし)

(2) 令和6年度実施状況及び令和7年度実施計画について

事務局

--- 資料2：令和6年度実施状況及び令和7年度実施計画についての説明 ---

令和6年度の主な取り組み（運行内容の見直し）

コミュニティバス「あいくる」

運行内容の見直し：利用者アンケートや区長からの意見を基に、以下の4つの方針でルートと時刻を見直しました。

- ① 路線の廃止や大幅な変更は避ける
- ② 合計運行距離を増やさず予算を抑える
- ③ 病院の移設等に対応する
- ④ 鉄道等と競合しない

伊予上灘線の試験運行：JRの便が少ない時間帯を補完するため、JR伊予市駅とJR伊予上灘駅を結ぶ路線（1日1往復）の試験運行を開始しました。

車両ラッピングの変更：路線誤乗防止のため、車両の色を路線ごとに変更しました。（八倉線：赤、三秋線：水色、郡中三線：オレンジ、唐川・平岡線：緑）

デマンドタクシー「スマイル号」

以下の3つの方針でルートと時刻を見直しました。

- ① 予約センターの廃止：予約センター業務をタクシー事業者に移管し、利用者が事業者と直接やり取りする方式に変更。これにより、より効率的な配車を目指します。
- ② 利用登録システムの廃止：システムが不要になったことで、中山・双海地域在住者であれば誰でも事前登録なしで利用可能とし、新規利用者の拡大を図ります。
- ③ 利用券の車内販売：利用券をタクシー車内で購入可能とし、利便性を向上させました。

令和6年度コミュニティバス・デマンドタクシー利用実績報告

コミュニティバス「あいくる」

年間利用者数：14,418人（前年度比2.1%増）／1日あたり平均乗車人数：9.9人

利用収入：2,729,500円

デマンドタクシー「スマイル号」

年間利用者数：3,821人（前年度比8.7%減）／1日あたり平均乗車人数：3.9人

利用収入：1,095,900円

令和7年度の計画と状況報告

基本方針：令和6年度から10年度までの「伊予市地域公共交通計画」に基づき、PDCAサイクルにより評価・改善を行います。今年度は運行内容変更後の状況を慎重に見極めます。

伊予上灘線（試験運行）利用実績（令和7年4月～6月）

4月：24人、5月：28人、6月：34人（月平均29人）と順調に推移しています。特に午前中の伊予市駅行きが多い傾向が見られます。1年間のデータを収集し、今後の継続や運賃について検討します。

質疑応答の後、原案のとおり承認されました。（意見・質問なし）

（3）地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金について（事前承認）

事務局

--- 資料3：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金についての説明 ---

経緯：国への申請期日が6月末であったため、委員への事前説明と電話等による書面での承認手続きが行われました。協力への謝意が述べられました。

申請内容：基本的には前年度（令和7年度分）の内容と同様で、直近の実績を基に一部数値を修正したものです。

今後の予定：次年度以降は、6月中旬までには本会議を開催し、会議内で承認を得るスケジュールで進めていきたいとの説明がありました。

説明と報告があり、了承されました。（意見・質問なし）

■質疑応答・その他

各議題の説明後、質疑応答の時間が設けられ、意見交換が行われました。その他、委員からの特段の発言はなく、予定された議事を全て終了し、閉会となりました。

■閉会

以上